

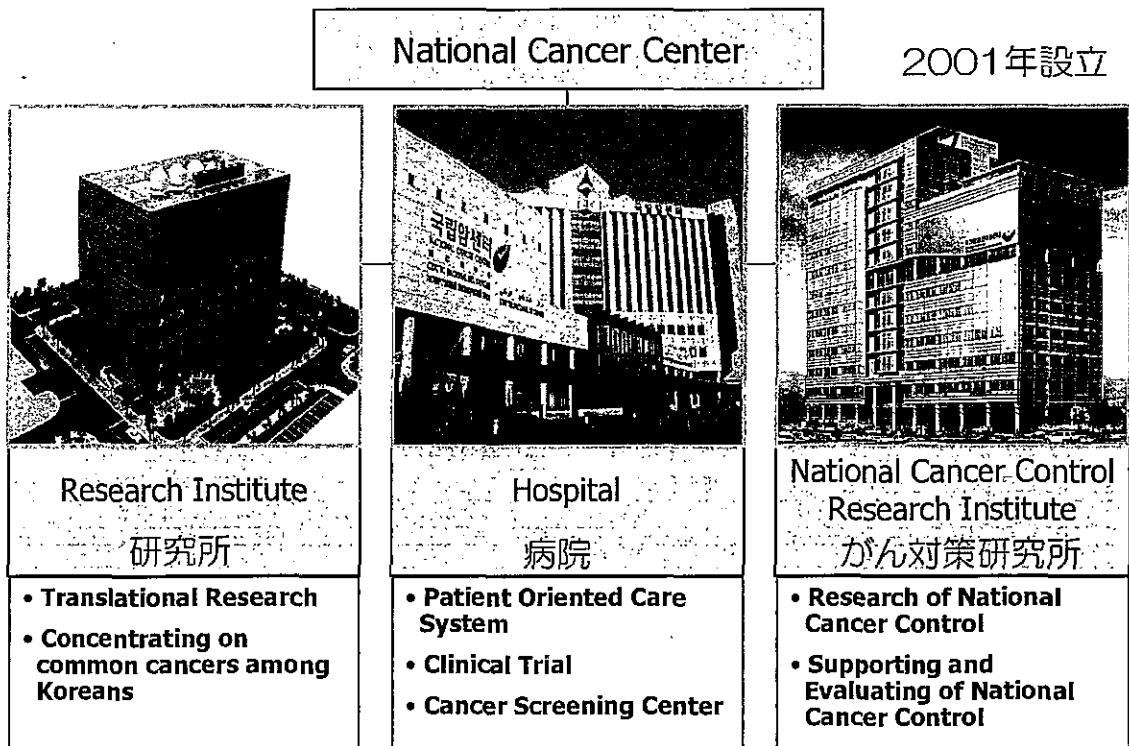
韓国でのがん検診受診率 50%達成について

協力：Yeonju Kim, MD, PhD
Cancer Early Detection Branch
Euncheol Park, MD, PhD
National Cancer Control Research Institute
National Cancer Center

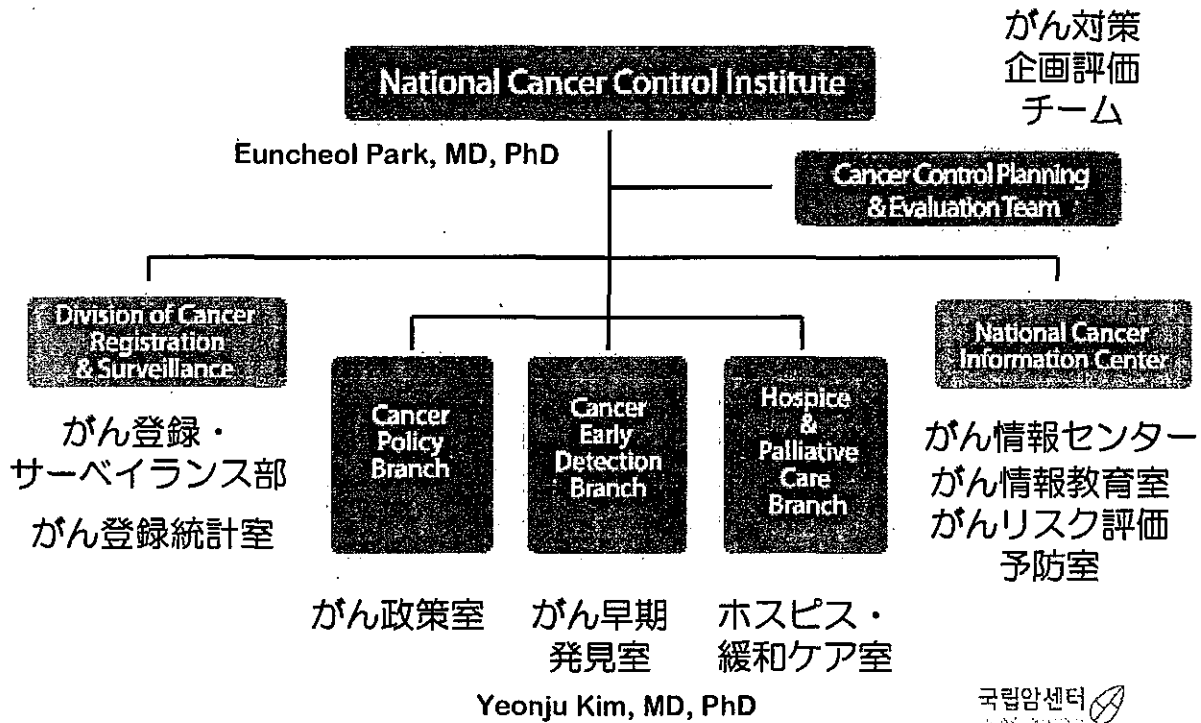
国立がんセンター
がん対策情報センターがん情報・統計部
祖父江 友孝

Structure of National Cancer Center

韓国国立がんセンターの組織図



がん対策研究所の組織図



韓国におけるがん対策の経緯

- 1996 第1期がん対策10カ年計画
- 1999 国家がん検診事業開始
- 2000 保健福祉部健康増進局がん管理課
- 2001 国立がんセンター設立
- 2003 がん管理法成立
- 2004 地域がんセンター
- 2006 第2期がん対策10カ年計画

韓国におけるがん検診事業の経緯

- 1999 事業開始（胃・乳・子宮頸）対象は低所得者のみ
- 2002 国民健康保険加入者の所得下位20%に対象拡大
- 2003 肝追加・下位30%に対象拡大
- 2004 大腸追加
- 2005 下位50%に対象拡大
- 2007 下位50%の家族に対象拡大

韓国におけるがん検診受診率

がんの種類	指針に従ったがん検診受診率 (%)					
	2004	2005	2006	2007	2008	
胃がん	39.2	39.4	43.3	45.6	53.5	
肝がん	一般	7.7	10.5	10.8	11.6	12.3
	高危険群 ¹	20.0	16.3	16.5	22.7	19.7
大腸がん ^{2,3}		16.8	18.2	19.2	20.1	24.3
		3.8	7.2	13.6	23.3	20.9
乳がん ⁴	33.2	38.4	40.6	45.8	49.3	
子宮頸がん	58.3	57.0	54.9	57.0	59.9	
加重平均受診率 ⁵	38.9	40.3	42.3	45.6	50.7	

¹ 高危険群：40歳以上でHBsAg陽性またはanti-HCV陽性または肝硬変

² 全大腸内視鏡（10年に1回）または注腸（5年に1回）：5大がん検診ガイドライン

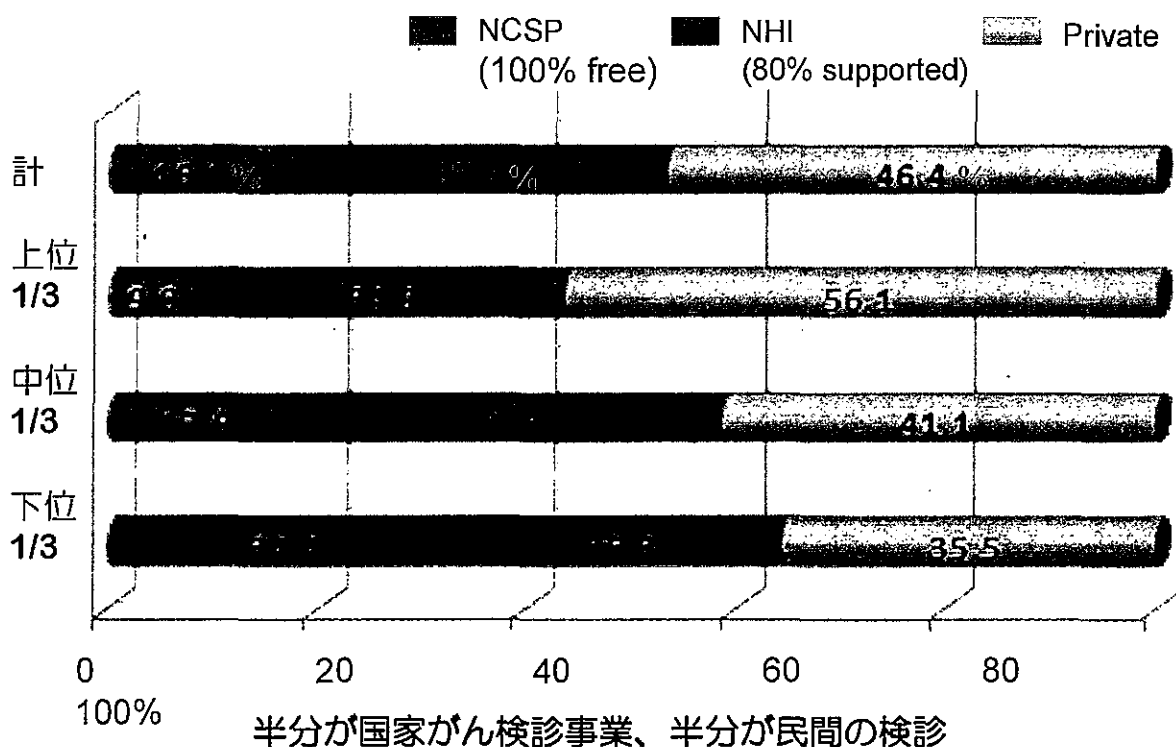
³ 便潜血検査（年1回）：国家がん検診事業ガイドライン ⁴ マンモグラフィ

⁵ 各がん検診の対象者数(2007年)で重み付けした加重平均受診率

全国民（男40歳以上、女30歳以上）からランダム抽出した対象者2,038人に対する聞き取り調査（5大がん検診受診状況調査）の結果に基づく

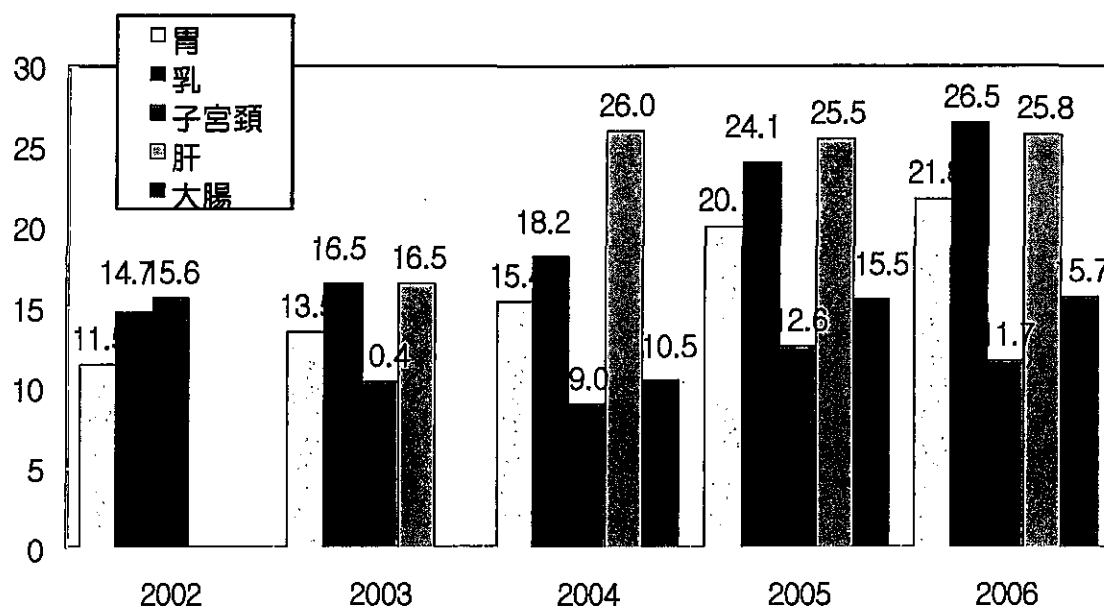
わが国の国民生活基礎調査によるがん検診受診率に相当

世帯所得別にみたがん検診費用負担状況の分布



国家がん検診事業の受診率 National Cancer Screening Program

・ 受診数 / 対象数
・ 検診間隔を考慮



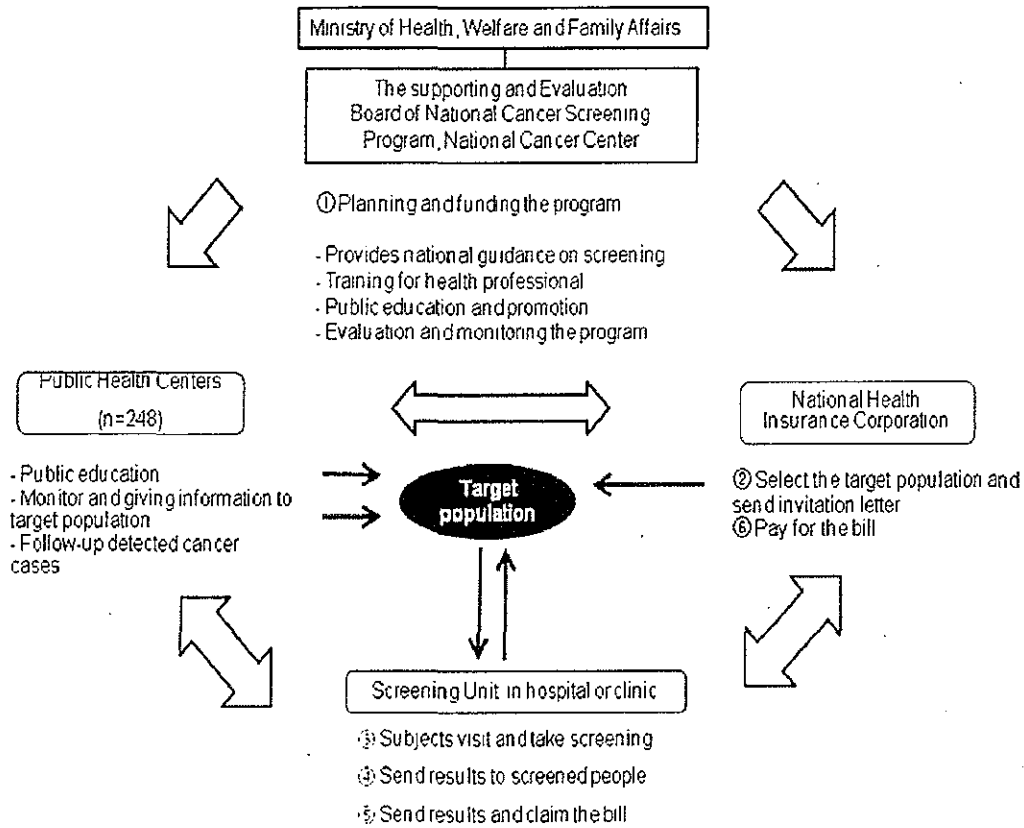
わが国の地域保健・健康推進事業報告によるがん検診受診率に相当

国家がん検診事業の実施状況

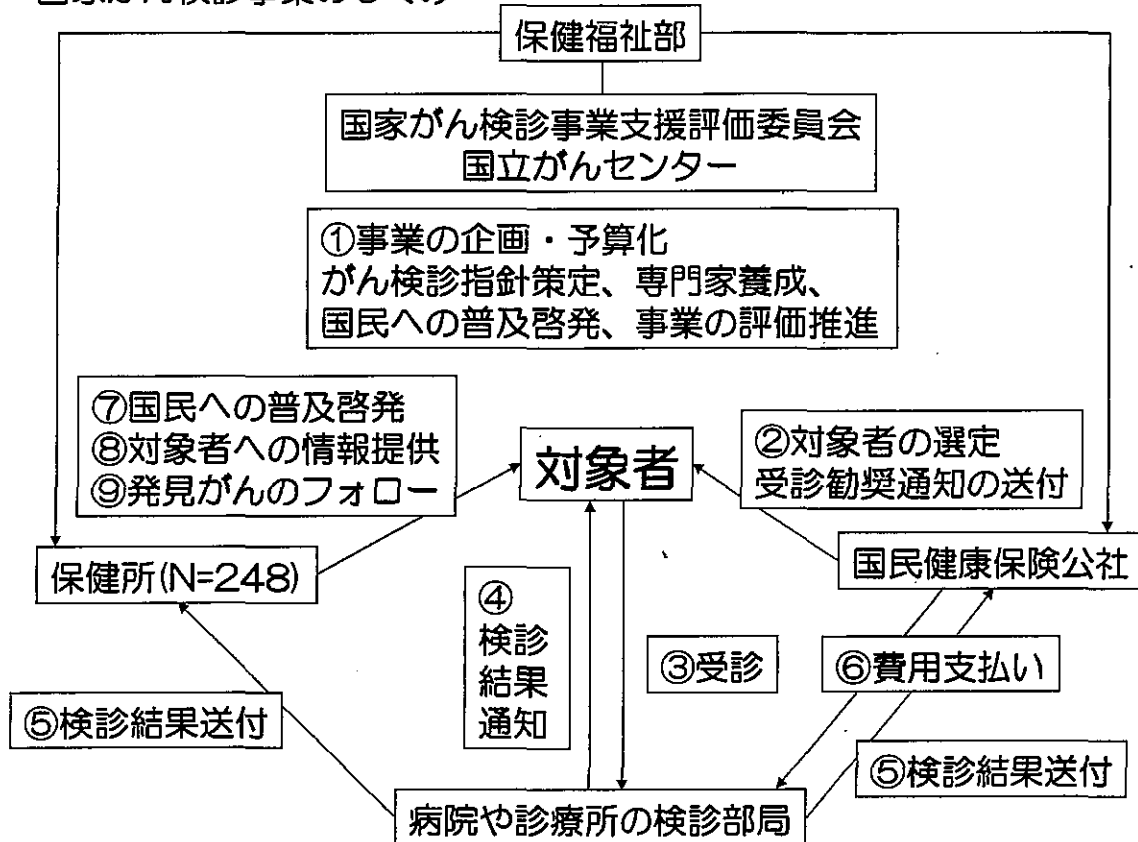
	受診者数 (1,000)				がん発見数 (発見率, %)			
	2003	2004	2005	2006	2003	2004	2005	2006
胃がん	573	577	1,150	1,525	653 (0.11)	662 (0.11)	1,383 (0.12)	1,717 (0.11)
乳がん	385	356	729	946	128 (0.03)	61 (0.02)	112 (0.02)	124 (0.01)
子宮頸がん	61	55	73	70	21 (0.03)	6 (0.01)	28 (0.04)	27 (0.04)
肝がん	113 (45) ¹	122 (45) ¹	199 (100) ¹	211 (117) ¹	83 (0.19) ²	91 (0.20) ²	145 (0.15)	152 (0.13)
大腸がん	-	238	537	692	-	99 (0.04)	207 (0.04)	289 (0.04)
合計	1,132	1,347	2,688	3,351	885 (0.08)	919 (0.07)	1,875 (0.07)	2,309 (0.07)

1: 高危険群における受診者数, 2: 高危険群における肝がん発見率

Schematic procedure of National Cancer Screening Program in Korea

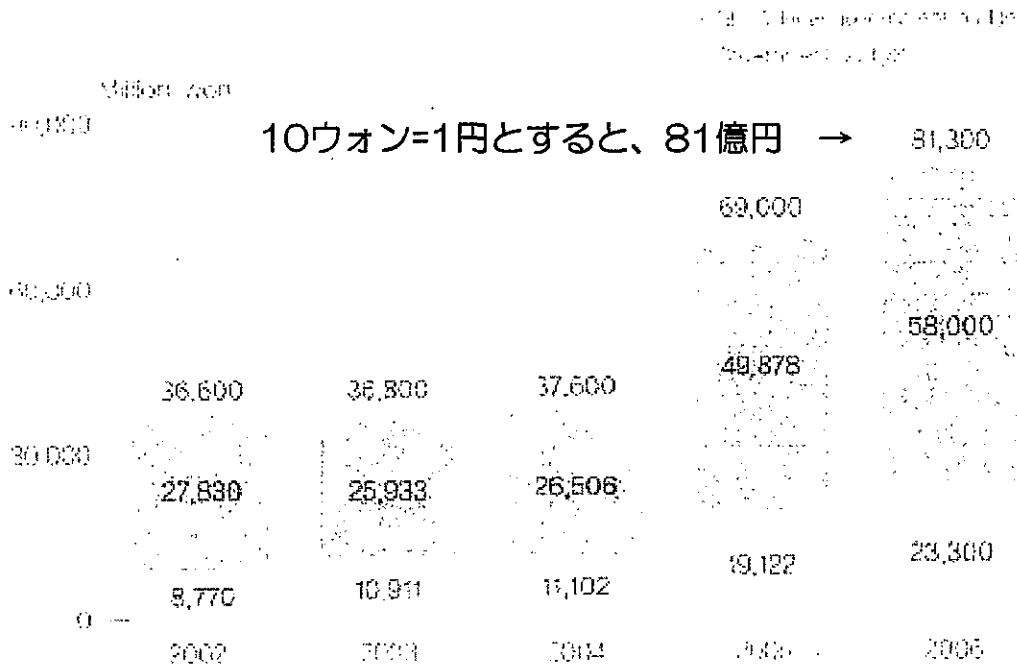


国家がん検診事業のしくみ



Budget of the National Cancer Screening Program [2002-2006]

国家がん検診事業の予算(2002-2006)

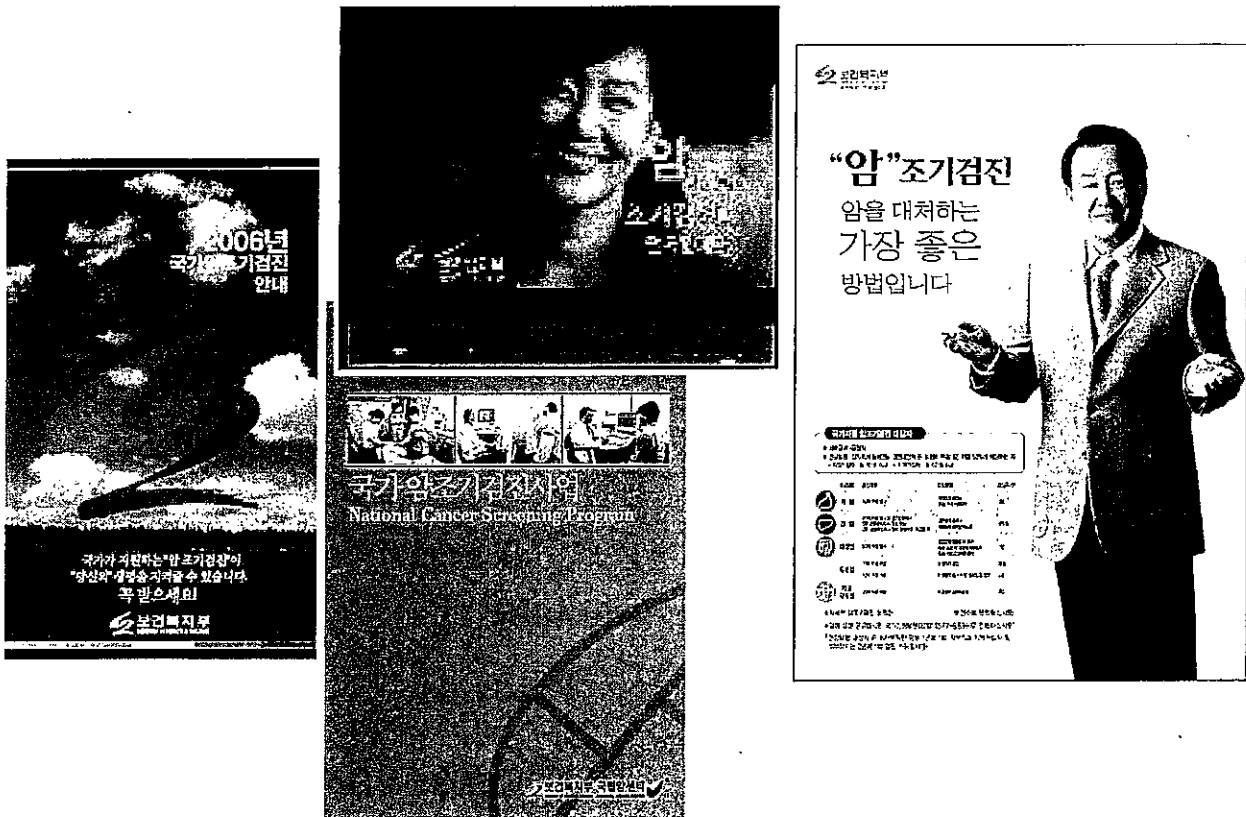


Cancer Facts & Figures 2008 in Korea

国家がん検診事業における単価(2008)

種類	検査内容	料金 (ウォン)
相談	生活習慣リスク要因の周知と医師による相談	5,020
胃がん	1. 上部消化管X線	36,650
	2. 内視鏡	39,140
	3. 組織診のための生検	27,530
乳がん	マンモグラフィ	21,910
子宮頸がん	PAPスメア (擦過細胞診)	5,690
肝がん	1. 腹部超音波	40,510
	2. 血清αフェトプロテイン(AFP)検査 ○ RPHA法 ○ EIA法	4,480 10,810
	3. GPT(ALT)	1,670
	4. B型肝炎抗原検査	2,730
	5. C型肝炎抗体検査	4,520
大腸がん	1. 便潜血検査 ○ RPHA法 (またはLatex法) ○ 便ヘモグロビン検査	2,610 3,630
	2. 注腸検査	59,430
	3. 全大腸内視鏡	58,500
	4. 組織診のための生検	27,530

がん検診の国民への普及啓発



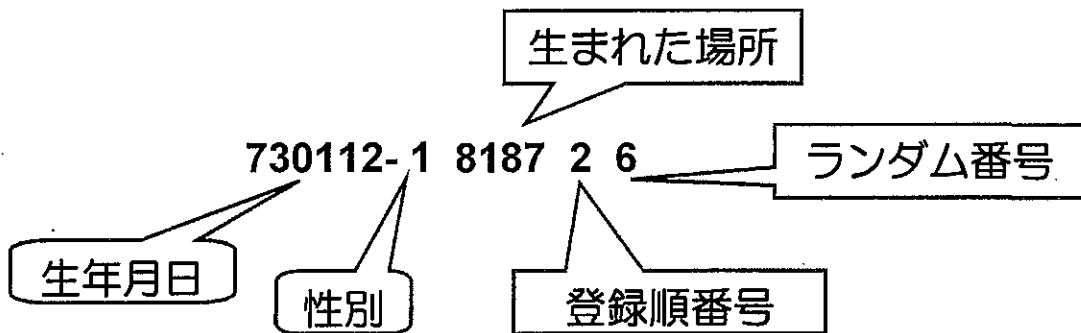
韓国でがん検診受診率が急速に増加した理由

- 対象者に対する個人宛の受診勧奨通知を出したこと
 - 国民健康保険公社が保険加入者名簿を利用
 - 通常の郵便で、受診日・受診機関は特定せず
- 国民への普及啓発活動を行ったこと
 - 保健所ネットワークを利用
- 検診自己負担額を無料あるいは低額に抑えたこと
 - 低所得者を優先し、順次拡大
- 政府が強力な関与をしたこと
 - 明確な指針（専門家委員会）と予算の裏付け

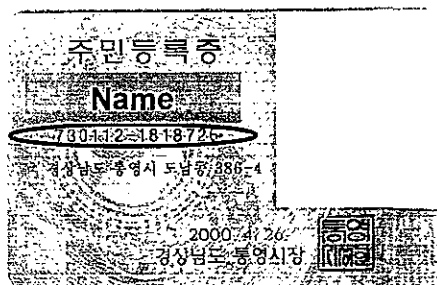
韓国でがん検診システムの課題

- 検診提供機関の整備
- 精度管理システムの確立
 - 保険システムの利用可能性
 - 個人識別番号によるがん登録との照合
- 民間によるがん検診の管理
 - 女性甲状腺がん罹患率の急増（超音波検査の多用）

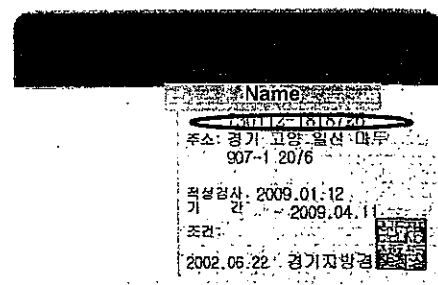
韓国個人識別番号（13桁）



個人IDカード



運転免許証



韓国における最近のがん罹患率の動向

年齢調整率(1999年人口を基準)

